

「第57回 関西財界セミナー」への参加について（ご報告）

当会の久和会長及び光野常任理事が2019年2月7,8日に開催された「第57回関西財界セミナー」に参加致しましたので、その概要についてご報告致します。

開催概要：

日 時 2019年2月7日(木)・8日(金)
場 所 国立京都国際会館
テーマ いま、試される関西～前進するための条件～
主 催 (一社)関西経済同友会、(公社)関西経済連合会
協 力 大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所、
(公財)関西生産性本部、(一社)京都経済同友会、(一社)神戸経済同友会
内 容 基調講演、分科会討議（テーマ毎に第1分科会～第6分科会に分かれて討議）等
参加者 関西の企業トップ経営者約300名を含む700名程度
主要国の領事館関係者や全国紙の記者も多数参加
北陸経済連合会からは、会長 久和進（北陸電力(株) 会長）、常任理事・社会基盤整備委員長 光野稔（福井テレビジョン放送(株) 会長）が第4分科会（テーマ：交通・物流インフラと日本・関西の発展策）に参加。

当会の参加目的：

関西での北陸新幹線早期全線開業に向けた機運醸成

当会発言内容（要約）：

●久和会長

「北陸新幹線が大阪まで繋がれば、北陸と関西のつながりが再び深まり、関西でも急増しているインバウンド客に対しても大きな効果が期待される。国土強靱化の観点からも北陸新幹線は重要な存在であり、北陸新幹線は北陸や関西のみならず、日本全体にとって重要なインフラである。北陸新幹線の早期全線開業に向け、関西の皆様と力を合わせて取り組んでいきたい。」

●光野常任理事

「北陸と関西は文化的・経済的な交流が昔から盛んであり、北陸は関西を支える地域。北陸はインバウンド観光等でも高いポテンシャルを持ち、関西の価値向上において、北陸新幹線の大阪までの全線開業が果たす役割は大きい。」

総 括：

当会は北陸新幹線の早期全線開業が、関西・日本全体にとって重要であることを強くアピール。久和会長及び光野常任理事の発言を受け、その他の参加者からも国土強靱化、文化的・経済的交流等の観点から、北陸新幹線の早期全線開業を求める声があがった。関西財界セミナー宣言（※別添参照）においても、北陸新幹線の早期全線開業の実現についての記載が盛り込まれた。

参 考：

・関西財界セミナー

年に1度、関西の企業経営者が一同に会し、国や地域のあり方などについて議論する場。今年で57回目の開催。